

## ゲーム系 SNS に関する意識調査

# **ユーザー数、アクティブ率 GREE、モバゲーが拮抗**

## **アクティブユーザー数の低さが各社の課題か**

マーケティングリサーチを行う株式会社メディアインタラクティブ（所在地：東京都渋谷区）では、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。今回、2011年11月14日～16日の3日間に、全国の10歳～59歳の男女500名を対象に「ゲーム系 SNS に関する意識調査」をテーマにした、インターネットリサーチを実施いたしました。

SNS といえばユーザー間の交流をメインに発展していくのがメインストリームですが、一方でゲームをキラーコンテンツとして、ユーザー同士の交流が行われる、ソーシャルゲームの台頭も目覚ましいものがあります。国内大手と思われる、GREE、モバゲー、アミーバピグの3サイトについて、ユーザー動向等を調査いたしました。今回は認知度や登録のきっかけ等、概要についての調査にとどめていますが、次回以降、課金や使用用途などの詳細データも調査していく予定です。

### **【調査概要】**

1. 調査の方法：株式会社メディアインタラクティブの運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用した WEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象：全国の10歳～59歳の男女
3. 有効回答数：500名
4. 調査実施日：2011年11月14日(月)～11月16日(水)

### **【調査結果概要】**

#### **【1】ユーザー数、アクティブ率 GREE、モバゲーが拮抗**

各種ゲーム系 SNS での登録率は、GREE、モバゲー、アミーバピグ、の順で、ほぼ横並びの結果となりました。認知度としては GREE、モバゲーが拮抗しており、若干アミーバピグが知名度は低くなりました。それでも、TVCM を含めた露出量がなせる業というべきでしょうか、9割に近くの人それぞれが SNS を認知している結果となりました。

また、年代毎で見ると、GREE・モバゲーはともに10～20代の登録率が高く、5割に近い結果となりました。なお、全体的に女性ユーザーの割合が大きかったこともわかりました。

#### **【2】アクティブユーザー数の低さが各社の課題か**

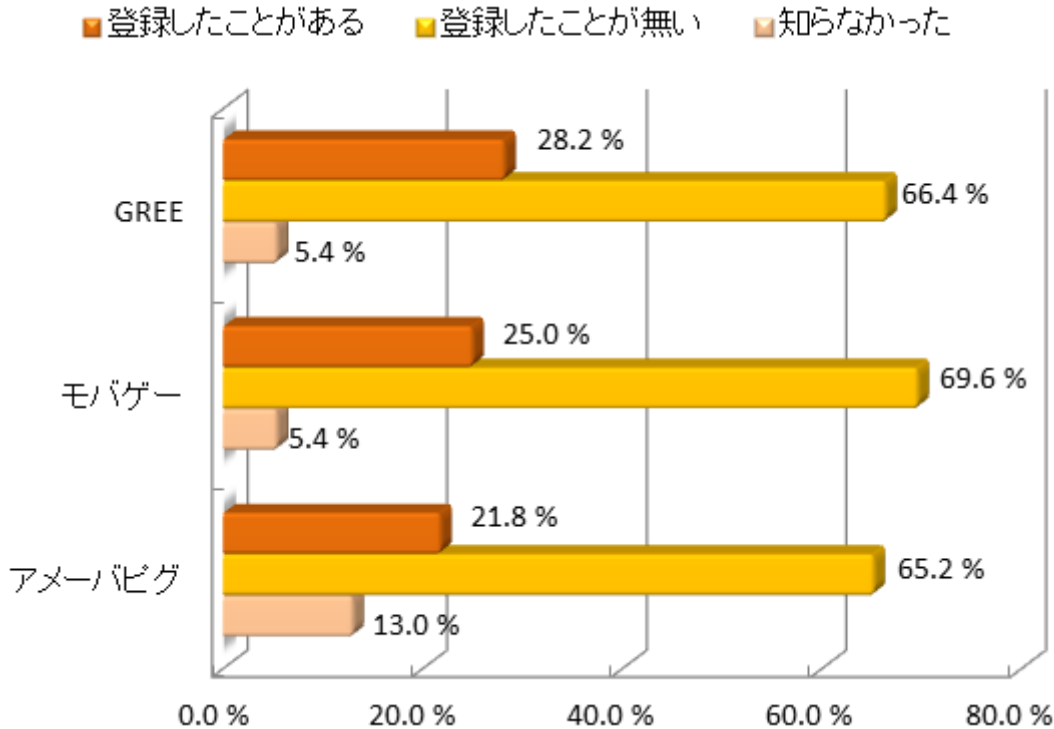
各種 SNS の利用頻度の調査では、毎日使うアクティブユーザーの比率はアミーバピグ、モバゲー、GREE の順で高いことがわかりました。登録率とは真逆の結果となりました。現在使っていないユーザーは GREE、モバゲー、アミーバピグの順で高く、アミーバピグのユーザーが比較的定着率が高いようです。とはいえ、すべての SNS で4割以上のユーザーが離脱しており、休眠アカウントがかなり多いことは全社にとって課題と言えます。

・・・本件に関するお問い合わせ先・・・

メディアインタラクティブ広報事務局 担当：小林

E-mail : pr@i-research.jp

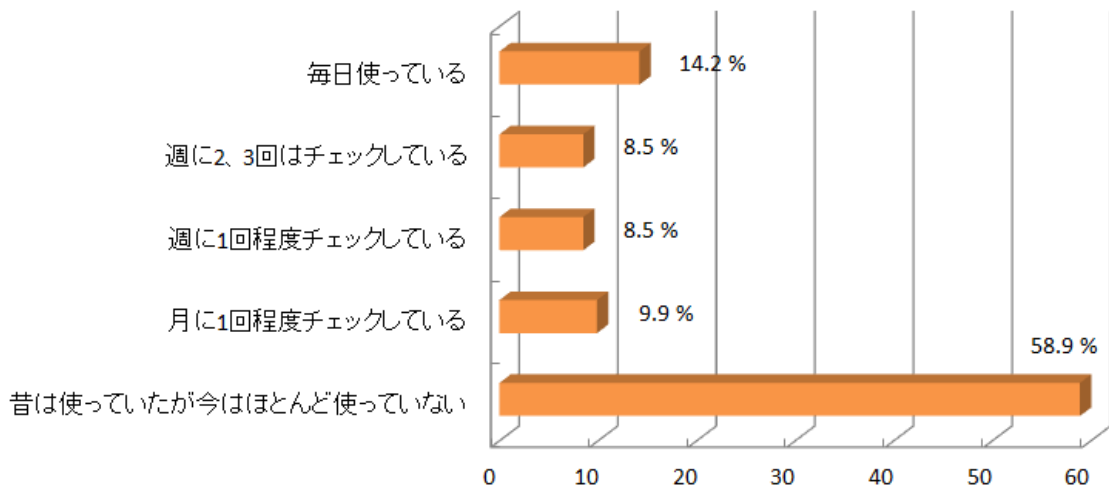
Q. 各種 SNS に登録したことがありますか。(N=500)



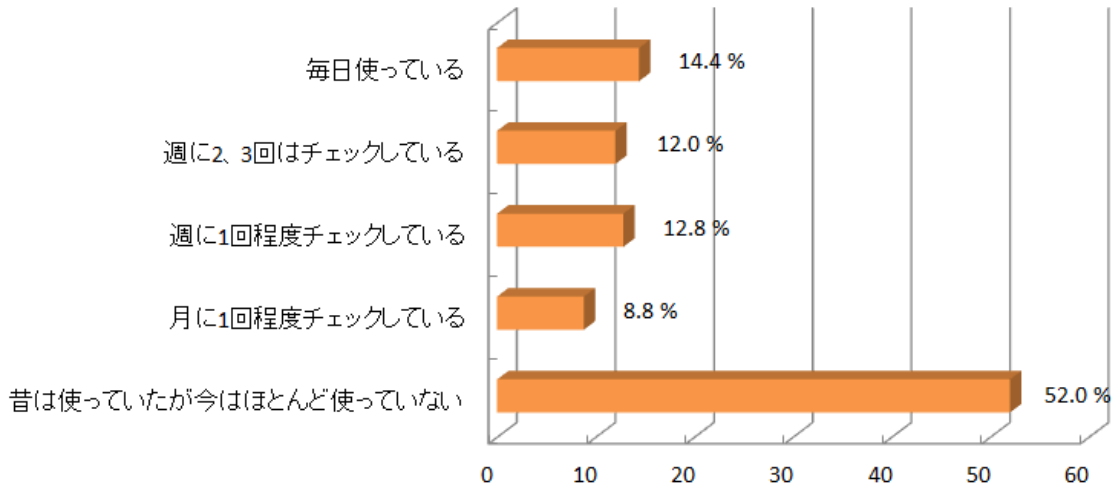
各種ゲーム系 SNS での登録率は、GREE、モバゲー、アメーバピグ、の順で、ほぼ横並びの結果となりました。認知度としては GREE、モバゲーが拮抗しており、若干アメーバピグが知名度は低くなりました。それでも、TVCM を含めた露出量がなせる業というべきでしょうか、9 割に近くの人がそれぞれの SNS を認知している結果となりました。

また、年代毎で見ると、GREE・モバゲーはともに 10～20 代の登録率が高く、5 割に近い結果となりました。なお、全体的に女性ユーザーの割合が大きいこともわかりました。

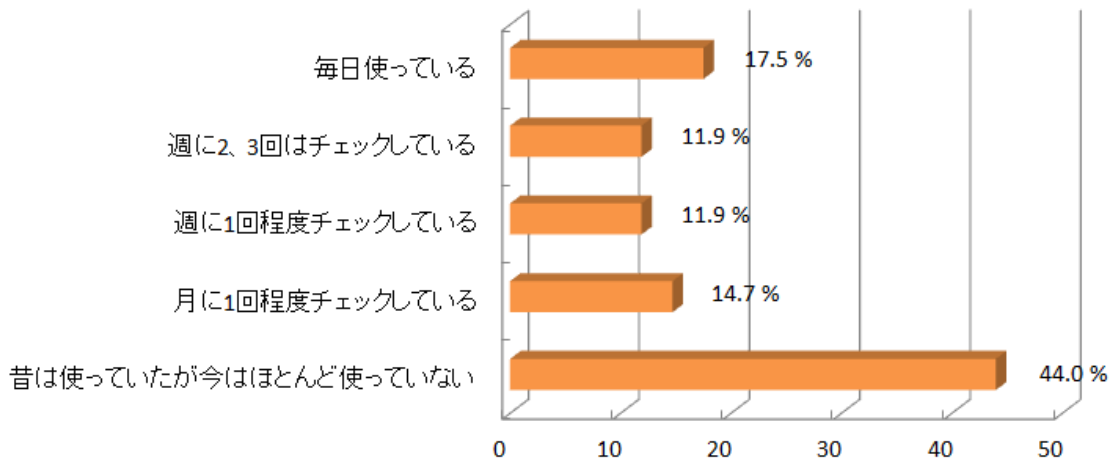
Q. GREE について、ご利用頻度をお答えください。(N=141)



Q. モバゲーについて、ご利用頻度をお答えください。(N=125)



Q. アメーバピグについて、ご利用頻度をお答えください。(N=109)



各種 SNS の利用頻度の調査では、毎日使うアクティブユーザーの比率はアメーバピグ、モバゲー、GREE の順で高いことがわかりました。登録率とは真逆の結果となりました。現在使っていないユーザーは GREE、モバゲー、アメーバピグの順で高く、アメーバピグのユーザーが比較的定着率が高いようです。とはいえ、すべての SNS で 4 割以上のユーザーが離脱しており、休眠アカウントがかなり多いことは全社にとって課題と言えます。

【引用・転載時のクレジット表記のお願い】

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査のメディアインタラクティブが実施した調査結果によると・・・」

【詳細資料無料ダウンロードのお知らせ】

弊社アイリサーチサイトにて本調査における詳細資料の無料ダウンロードサービスを行っております。

ご興味のある方は下記より、アクセスをお願いします。

■ 無料独自調査データダウンロードサービス

[http://www.i-research.jp/report\\_dl/list.html](http://www.i-research.jp/report_dl/list.html)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディアインタラクティブ

広報事務局：小林

TEL 03-6826-5000 FAX 03-6419-8375

e-mail [pr@i-research.jp](mailto:pr@i-research.jp) <http://www.i-research.jp>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-18 矢倉ビル 6F

---

・・・本件に関するお問い合わせ先・・・

メディアインタラクティブ広報事務局 担当：小林

E-mail： [pr@i-research.jp](mailto:pr@i-research.jp)